

Elle pleure plus...

その子はもう泣いていない……

ジェーン・バーキンと中島ノブユキのコラボレーション作品を発表

坂本龍一を始めとするアーティストらの作品を通じて寄付を募る、東日本大地震被災地支援プロジェクト「kizunaworld.org」(キズナワールド・ドット・オルグ)は、2012年8月14日、新たな作品として、ジェーン・バーキン氏と中島ノブユキ氏がコラボレーションした作品を発表いたしました。

今月の作品は、テキストと声を担当したジェーン・バーキン氏と、楽曲の作曲およびピアノ演奏を担当した中島ノブユキ氏によってコラボレーションされた作品「une petite fille」(少女)です。2011年4月、ジェーン・バーキン氏が単身来日しチャリティーコンサートを行い、被災した人々を訪ねた際に出会った少女とのあいだに交わされた会話がこの作品に投影されています。

kizunaworld.orgでは、坂本龍一と平野友康が発起人となり、本プロジェクトに賛同してくれるアーティストたちの作品を毎月発表し、作品に対して1口1,000円からの寄付を募っております。

集まった寄付金の全額(決済手数料を除く)は、被災地で「いま必要な支援」として《医療》・《こども》・《食料》・《住宅》・《エネルギー》の分野を代表する5つの支援団体に対して均等に分割し、四半期ごとに寄付を行っております。

引き続き、皆さまからの温かなご支援をこころよりお待ちしております。

作品紹介

kizunaworld project #23 「une petite fille」

Text & Voice by Jane Birkin / Music & Piano by Nobuyuki Nakajima

2011年4月、ジェーン・バーキンが単身来日しチャリティーコンサートを行った。そして被災した人々を訪ねた。そこで一人の少女と出会う。その時、少女とのあいだに交わされた会話がこのテキストに投影されている。テキストと曲がパリと東京にそれぞれ住むジェーンと中島の間を往復書簡のように行き来し作品は完成していった。この作品が多くの人に届きますことを願います。亡くなわれた方々への鎮魂、そして生きて残された我々の希望となることを祈って…。

(ジェーンのフランス語のテキストの日本語訳をくださった小沼純一さん、英語訳を担当してくださった坂本美雨さん、そして文字構成をしていただいた映画監督の甲斐田祐輔さんに心から感謝いたします。中島ノブユキ)

Elle pleure plus...

その子はもう泣いていない……

She cried no more.

About Jane Birkin

イギリス生まれ。ミケランジェロ・アントニオーニ監督の『欲望』(1966)で本格的に女優としてのキャリアをスタートする。作曲家ジョン・バリーとの離婚を機に娘のケイト・バリーを連れ渡仏。パリでピエール・グランブラ監督の『スローガン』(1969)で主役に抜擢され、共演をきっかけにセルジュ・ゲンスブールと運命的な出会いを果たす。女優として活動するかたわら、セルジュとデュエットした『ジュ・テーム』はそのエロティックな内容で世界的に波紋を呼ぶ。その後『ジェーン・B〜私という女』などを含むセルジュと二人名義のアルバムで歌手としてのキャリアをスタート。『ディ・ドゥ・ダー』(1973)から80年に別離を経ながらも『いつわりの愛』(1990)まで6枚のアルバムをセルジュがプロデュースする。

'80年以降は、3番目の夫となったジャック・ドワイヨン監督『ラ・ピラート』でセザール賞主演女優賞にノミネートするなど、演技派女優として、映画だけではなく舞台へも活躍の場を広げる。

私生活では、3度の結婚でそれぞれ授かった、ケイト・バリー (写真家)、シャルロット・ゲンスブール (女優、歌手)、ルー・ドワイヨン (女優) の良き母である。また、'84年に誕生したエルメスのバッグ【バーキン】は、飛行機の隣に乗り合わせたエルメスのジャン・ルイ・デュマ5代目当主が荷物のあふれ出しそうなジェーンのかごを目にしたことがきっかけで生まれ、彼女の名が冠されたという。

近年は内戦中のサラエボ訪問、ロシアによるチェチェンの侵攻や、グライ・ラマのためのプロテスト、ミャンマー独裁政権下のアウンサンスーチー女史解放など、人権問題をテーマとした数々の政治社会問題にも積極的に取り組んでおり、アムネスティー、国境なき医師団、世界の医療団などの活動支援も行ってきた。昨年3月の東日本大震災の直後、自らの病気をおしてまで来日しチャリティ活動や被災者慰問などに尽力した彼女の姿は記憶に新しい。またこの来日がきっかけとなり、立ち上げた "Jane Birkin Sings Serge Gainsbourg via Japan" 公演で、中島ノブユキ等日本人ミュージシャンとワールドツアーを行っている。(梶野彰一)

<http://www.janebirkin.net/>



About 中島ノブユキ

作曲家 / ピアニスト

東京とパリで作曲を学ぶ。ピアニストとしては勿論の事、時に作・編曲家としてエレガントかつスリリングなアンサンブルを構築し、映画音楽〜JAZZ〜POPS〜広告音楽〜クラシック 等様々なフィールドで展開。主に菊地成孔やUA、持田香織、畠山美由紀らの作品、タップダンサー熊谷和徳と東京フィルハーモニー交響楽団が共演する「REVOLUCION」に音楽監修/作曲、オーケストレーション等。

2011年よりNHK-BSで放送の番組「旅のチカラ」のテーマ音楽（『その一歩を踏み出す』）を作曲。映画音楽として「人間失格」（荒戸源次郎 監督作品）を手がける。

近年、音楽監督/ピアニストとしてジェーン・バーキン ワールドツアー（Jane Birkin sings Serge Gainsbourg “VIA JAPAN”）に参加。

ソロアルバムとしてこれまでに『エテパルマ』『パッサカイユ』『メランコリア』を発表。自身初のピアノソロアルバム『カンチェラーレ』を2012年4月リリースした。

ライフワークである「24のプレリュードとフーガ」を鋭意作曲中。

<http://nobuyukinakajima.com/>



寄付の概要

集まった寄付金の全額（決済手数料を除く）は、被災地で「いま必要な5つの支援」として、《医療》・《こども》・《食料》・《住宅》・《エネルギー》の5つのテーマを設け、代表的な団体への寄付を行なって参ります。

受付期間

2011年4月27日（水）～2013年3月31日（日）
※第4期の寄付金支払い報告を公式ウェブサイトで発表いたしました。
第一期：2011年4月27日（水）～6月30日（木）
第二期：2011年7月1日（金）～9月30日（金）
第三期：2011年10月1日（土）～12月31日（土）
第四期：2012年1月1日（日）～3月31日（土）
第五期：2012年4月1日（日）～6月30日（土）
第六期：2012年7月1日（日）～9月30日（日）
第七期：2012年10月1日（月）～12月31日（月）

寄付先

- ・ 国際NGO世界の医療団
【岩手県大槌町でこころのケアを中心とした医療活動、医薬品の調達】
- ・ こどもの音楽再生基金
【教育機関での楽器修復や提供・音楽活動支援】
- ・ サンライス元気村プロジェクト
【仮設住宅で生活をされている高齢者にお米を届ける支援】
- ・ ボランティア建築家機構 坂茂／東日本大地震津波支援プロジェクト
【避難所用簡易間仕切りシステム設置による支援】
- ・ 環境エネルギー政策研究所 つながり・ぬくもりプロジェクト
【太陽光・太陽熱・バイオマスなどによる被災地支援】

報告

kizunaworld.orgの公式サイトで随時、実施報告をいたします。

寄付の方法

PayPal からの寄付（決済）のみ

寄付金額

1口：1,000円、2口：2,000円、5口：5,000円、10口：10,000円、20口：20,000円

公式サイト

<http://kizunaworld.org/>

公式ツイッター

[@kizuna_w](https://twitter.com/kizuna_w) (http://twitter.com/kizuna_w)

【主催】

kizunaworld.org project

【運営】

kab inc., digitalstage inc., commons

本件に関する問い合わせ先

commons 中城 Email:bin@commons.com Tel:03-5413-8647

デジタルステージ 広報：藤川 Email:pr@digitalstage.jp